

大分県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（平成20年度、農薬以外）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大分市	17,274,441	銀及びその水溶性化合物 13,870,968	銅水溶性塩(錯塩を除く) 1,320,000	マンガン及びその化合物 1,166,842
2	日田市	247,192	マンガン及びその化合物 78,237	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く) 57,980	6価クロム化合物 37,182
3	別府市	229,223	マンガン及びその化合物 152,842	砒素及びその無機化合物 36,367	ほう素及びその化合物 25,834
4	中津市	124,640	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル 96,296	マンガン及びその化合物 12,368	亜鉛の水溶性化合物 6,600
5	速見郡 日出町	71,019	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く) 23,529	6価クロム化合物 18,788	カドミウム及びその化合物 7,059
6	国東市	51,503	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く) 14,725	6価クロム化合物 11,515	マンガン及びその化合物 10,816
7	津久見 市	50,673	銅水溶性塩(錯塩を除く) 12,000	無機シアン化合物(錯塩及びシアン 酸塩を除く) 11,765	マンガン及びその化合物 7,895
8	佐伯市	43,547	マンガン及びその化合物 35,553	銅水溶性塩(錯塩を除く) 4,440	亜鉛の水溶性化合物 1,630